



SORA

web magazine 2012.dec. vol.03

スペシャルトリップとして開催しているポワンディミエツアー。
手つかずの自然が広がり、水中は森のような雰囲気が魅力的です。
古見きゅうが捉えた色彩豊かなポワンディミエをお楽しみください。

photo & text : Kyu Furumi

MAP
CLICK!

Newcaledonia Poindimie

ニューカレドニア
ポワンディミエ



tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



SURPRISE

驚き

小人になつて迷い込む海の森

Newcaledonia
Poindimie ニューカレドニア
ポワンディミエ

名ガイド小川マサシさんが運転するバンに乗り込みニューカレドニアの道进行。途中、景色の良いいところに立ち寄り、撮影しながら北上すること6時間弱。今回の撮影の目的地ポワンディミエに辿り着いた。季節はニューカレドニアの冬ということもあって若干涼しいが、日中は陽がさしてくれば充分に暖かい。

マサシさんからの「ソフトコーラルの密度がとにかくスゴイ」という事前情報を頼りに、カメラには久しぶりのフィッシュアイレンズをセットしポイントへ向かった。

エントリーしてリーフのエッジに辿り着くと、サンゴの上をパープルビューティーが群れをなし泳ぎ回っている。ここで時間をかけたい気もするが、本番はここではないとマサシさんの背中が言っている。少し泳いだ先の水路のようになった根と根の間は少し広がっていて、この間に入り込みズンズンと進んでいく。

突き当たった先はまさにソフトコーラルの森。幾重にも重なり合うようにイソバナやウミウチワ、ムチャギがニョキニョキと生い茂っている。なんだか小人になってサンゴの溪谷に迷い込んだような感覚だ。これまでもソフトコーラルの美しいポイントは各地で潜ってきているが、これまでに経験のないような興奮を覚えたのは間違いない。ポアンディミエ恐るべし。



Newcaledonia
Poindimie ニューカレドニア
ポワンディミエ

ここで出会った小さな命たち

今撮影での最大の目的はポワンディミエのソフトコーラルの群生を撮ることだったのだが、ニューカレドニアの海にすむ魚たちを撮るのも楽しみにしていた。ニューカレドニア固有の魚、オセアニア固有の魚、固有種ではないけどかわいい顔の魚などなど、ようすにお魚好きとしては目に映るものは全て写真に収めたいというわけだ。欲張り万歳。

個人的に一番ヒットだった魚はハイフィン・パロットフィッシュ(右上)。パッと見た感じは何の変哲もないブダイの仲間なのだけど、求愛の時にはとんでもないパフォーマンスを見せてくれた。ベラと同じように身体中のヒレを全開にし、婚姻色を輝かせ求愛を行うのである。こんなブダイは今まで見たこともない、しかもベラのダンスを真似ているかのようリズミカルにお尻をクイッククイッと振り上げる仕草は、抱きしめたくなるほどの愛らしさだった。「魚のなかでブダイが一番好きなんですよ〜」というダイバーには今のところ出会ったことがない(ような気がする)。そこから分析すると、分類上ベラとブダイは近しい仲間でありながらも、華やかな婚姻色で一部のダイバーを魅了するベラと、ブダイの間では人気の明暗はクッキリと分かれている。

分類学となると詳しいことは僕には分からないのだけど、このブダイは、きっとベラに憧れているのかな?そんなことを考えながら潜っている時が一番楽しかったりする。





ROMANCE

ロマン

Newcaledonia
Poindimie ニューカレドニア
ポワンティミエ



生活感と空気を感じる

仕事柄水中での撮影がメインとなることが多いけど、出来る限りその土地の街並みの風景であったり、人々の暮らしも撮影したいと思う。そうすることによって海も含めて「その場所」を強く感じることができるからだ。ガッツリと目的を持って景勝地を巡るというよりも、人々の生活感や空気というものをブラブラと歩きながら感じ、撮影していくのが好きだ。

ここはフランス領ニューカレドニア。勝手な想像だったのだがフランス領というと、どうしてもポリネシアの人々が多いというイメージがあったのだが、ここニューカレドニアはメラネシアの人々が多い。だから何なんだ？と言われたら何も言えなくなってしまうのだが、この地にこういった形で、メラネシアンたちは辿り着いたのか。そんな大昔のルーツや歴史なども知りたくなった。ニューカレドニアの海と共に陸上の文化なども、時間をかけて触れてみたいと思うようになった。



Newcaledonia
Poindimie

ニューカレドニア
ポワンティミエ



ROMANCE
ロマン



tsumi-shima
ダイナミックな旅をつまみあげていく島



ACTION

行動

Newcaledonia
Poindimie ニューカレドニア
ポワンティミエ

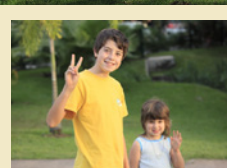




楽しみな街歩き

ポワンディミエで出会った夕暮れ時の雲の流れや、海岸線に聳える高い高い南洋杉の風景は、絵画を目の前にはめ込んだような完璧な美しさ。港、カフェ、公園、海岸線、洒落た欧州の香りが漂いつつも、南の島の雰囲気も兼ね備えるヌメアの街並み。海外撮影に出てもあり「ここに住みたい」と思ったことはないが、こんなところに住んだら素敵なんだろうなあと、うつとりさせてくれる雰囲気がニューカレドニアにはある。

ニューカレドニアでのダイビングは基本的に午前中に2ダイブ行い、午後からはフリーとなることが多い。ホテルでゆっくりとするのもいいのだが、ぜひニューカレドニアの街や自然も感じてみてもらいたい。



Newcaledonia
Poindimie

ニューカレドニア
ポワンディミエ

ACTION
行動

Information

CLICK! ニューカレドニア観光局へ

●国名：フランス領ニューカレドニア ●ビザ：日本国籍の方で観光目的の30日間以内の滞在なら不要 ●パスポート残存期限：入国時3ヶ月以上 ●言語：公用語はフランス語（英語も通じることが多い） ●通貨：パシフィック・フラン（CFP）1 CFP=約1円 ●時差：日本より+ 2 時間。ニューカレドニアの正午は日本の午前10時 ●電圧：220V 50Hz、プラグはCタイプ の2穴丸型 ●水：水道水は飲むことができるが、気になる方はミネラルウォーターを ●行き方：成田から約9時間でヌメアへ。ポワンディミエまでは車で5時間ほど

tsumi-shima

ダイバーの夢をつみあげていく島

